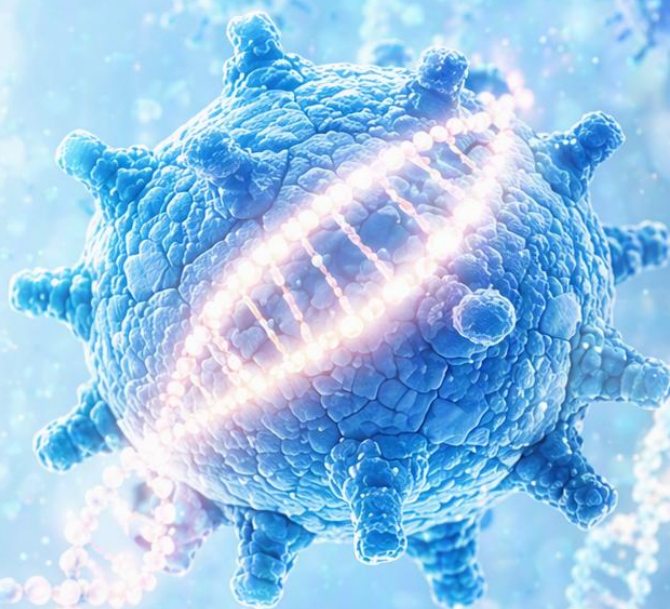


— 第1回開催のご案内 —

遺伝子治療 グローバル臨床開発 コンソーシアム

国内発シーズを、世界へ届けるために。

Empowering Japan-Originated Gene Therapies for Global Reach



日時

2026年11月10日（火）

14:00–17:00 + 懇親会

会場

Toda Hall & Conference Tokyo

Room 401・402（4階）

+ オンライン（ハイブリッド形式）

参加費

無料（事前登録制）

定員あり・先着順

本コンソーシアムについて

国内には遺伝子治療の優れたシーズが数多く生まれています。一方で、それらを世界に届けるまでには、品質・製造・規制対応・臨床開発戦略・資金調達など、多面的な課題を乗り越える必要があります。

本コンソーシアムは、スタートアップ、アカデミア、製薬企業、CDMO、ベンチャーキャピタルなど、遺伝子治療のグローバル臨床開発に関わる幅広いステークホルダーが一堂に会し、経験と知見を共有することで、国内発シーズのグローバルな社会実装を加速させる場を提供します。第1回イベントでは、講演とパネルディスカッションを通じて、日本発の遺伝子治療を世界に届けるための道筋を共に描いていきます。

プログラム

講演・パネルディスカッション・ピッチトークを予定しています。詳細は2ページ目をご覧ください。

こんな方におすすめ

- ・今後、ベンチャー立ち上げに興味のある研究者、アカデミアの皆様
- ・国内発シーズの海外展開や、CDMO選定・活用などについて知りたいスタートアップ企業様
- ・シーズ探索、ネットワーキングなどを希望されるベンチャーキャピタル、製薬企業様

など

参加費

無料

お申し込み

右記QRコード、または[こちらのリンク](#)からお申し込みください

主催：味の素株式会社



CONTACT

コンソーシアム事務局

gtgc_office@asv.ajinomoto.com

プログラム

時間	内容
14:00-14:05	開会挨拶 奥住 竜哉 氏（味の素株式会社 バイオ・ファイン研究所 マテリアル&テクノロジーソリューション 研究所 研究所長）
14:05-14:35	大学発シーズをグローバル開発へ：創業からINDまでの意思決定 【登壇者】 堅田 侑作 氏（株式会社Restore Vision 代表取締役社長CEO）
14:35-14:55	希少疾患遺伝子治療の臨床開発 — アカデミアの現場から 【登壇者】 小坂 仁 氏（自治医科大学 医学部 小児科学講座 教授）
14:55-15:25	A CDMO's View of FDA Expectations: IND Requirements and CDMO Selection for Gene Therapy 【登壇者】 Christopher Shilling 氏（Forge Biologics, Chief Regulatory Officer）
15:25-15:40	休憩
15:40-16:40	パネルディスカッション スタートアップ・CDMO・VCは何を見ているのか — グローバル開発を実現する条件 【登壇者】 堅田 侑作 氏（株式会社Restore Vision 代表取締役社長CEO） 野々村 和彦 氏（RDiscovery パートナー／取締役） 和田 祐輔 氏（Saisei Ventures シニアアソシエイト） Christopher Shilling 氏（Forge Biologics, Chief Regulatory Officer） 【モデレーター】 山本 憲幸 氏（Flox Bio株式会社 代表取締役）
16:40-16:50	ピッチトーク 【登壇者】 舟越 俊介 氏（京都大学iPS細胞研究所（CiRA） 助教） 中井 浩之 氏（NeoSakura BTX, Inc. President & CEO／オレゴン健康科学大学（OHSU） Distinguished Professor）
16:50-17:00	閉会
17:00-19:00	ネットワーキング（懇親会）

※ プログラムは予定であり、今後変更となる可能性があります。

CONTACT

コンソーシアム事務局
gtgc_office@asv.ajinomoto.com